

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2013年12月18日から2028年4月21日までです。	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	インカムビルダー (毎月決算型) [限定為替ヘッジ／ 為替ヘッジなし]	米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド(クラスM)」受益証券および円建ての国内籍投資信託「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。なお、コモディティ・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ストラテジック・ インカム・ファンド (クラスM)	世界の債券および株式等を投資対象として分散投資を行います。
	MHAM短期金融資産 マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	主として、ストラテジック・インカム・ファンド(クラスM) 受益証券に投資を行い、世界(日本および新興国を含みます。)の債券および株式等に実質的に投資します。また、MHAM短期金融資産マザーファンド 受益証券への投資も行います。 投資信託証券の合計組入比率は、高位を維持することを基本とし、各投資信託証券への投資にあたっては、通常の状態においては、外国投資信託受益証券への投資を中心に行います。 [限定為替ヘッジ] では、外貨建資産については、原則として米ドル売り／円買いの為替取引を行います。 [為替ヘッジなし] では、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
組入制限	インカムビルダー (毎月決算型) 限定為替ヘッジ	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	インカムビルダー (毎月決算型) 為替ヘッジなし	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	ストラテジック・ インカム・ファンド (クラスM)	信託財産の総資産の50%以上を金融商品取引法第2条第1項に定義される「有価証券」に投資します。ただし、運用開始直後、大量の解約が予想される場合または運用会社がコントロールすることができないその他の状況が予想される場合を除きます。 投資信託証券(上場不動産投資信託証券(REIT)を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
	MHAM短期金融資産 マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。
分配方針	第4期以降の毎決算時(原則として毎月23日、休業日の場合は翌営業日)に経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

運用報告書(全体版)

インカムビルダー(毎月決算型) [限定為替ヘッジ／為替ヘッジなし]

第77期	<決算日	2020年5月25日>
第78期	<決算日	2020年6月23日>
第79期	<決算日	2020年7月27日>
第80期	<決算日	2020年8月24日>
第81期	<決算日	2020年9月23日>
第82期	<決算日	2020年10月23日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「インカムビルダー(毎月決算型)[限定為替ヘッジ／為替ヘッジなし]」は、2020年10月23日に第82期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

インカムビルダー（毎月決算型）限定為替ヘッジ

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 資産比率	債券 比率	純資産 総額
		(分配落)	税金 込	み 騰			
		円	円	%	%	%	百万円
第10 作成期	53期 (2018年5月23日)	9,857	20	△1.6	98.2	0.2	1,160
	54期 (2018年6月25日)	9,774	20	△0.6	97.6	0.2	1,133
	55期 (2018年7月23日)	9,767	20	0.1	96.0	0.2	1,126
	56期 (2018年8月23日)	9,787	20	0.4	96.7	0.2	1,107
	57期 (2018年9月25日)	9,804	20	0.4	99.4	0.2	1,090
第11 作成期	58期 (2018年10月23日)	9,644	20	△1.4	97.8	0.2	1,072
	59期 (2018年11月26日)	9,324	20	△3.1	97.4	0.2	1,014
	60期 (2018年12月25日)	8,996	20	△3.3	94.5	0.2	948
	61期 (2019年1月23日)	9,281	20	3.4	94.3	0.2	983
	62期 (2019年2月25日)	9,400	20	1.5	97.6	0.2	979
第12 作成期	63期 (2019年3月25日)	9,411	20	0.3	96.8	0.2	976
	64期 (2019年4月23日)	9,455	20	0.7	98.4	0.2	987
	65期 (2019年5月23日)	9,385	20	△0.5	96.6	0.2	974
	66期 (2019年6月24日)	9,410	20	0.5	96.2	0.2	962
	67期 (2019年7月23日)	9,401	20	0.1	97.1	0.2	942
第13 作成期	68期 (2019年8月23日)	9,269	20	△1.2	96.8	0.1	925
	69期 (2019年9月24日)	9,344	20	1.0	97.2	0.1	929
	70期 (2019年10月23日)	9,212	20	△1.2	97.3	0.1	909
	71期 (2019年11月25日)	9,139	20	△0.6	98.4	0.1	876
	72期 (2019年12月23日)	9,330	20	2.3	97.5	0.1	892
第14 作成期	73期 (2020年1月23日)	9,349	20	0.4	97.4	0.1	856
	74期 (2020年2月25日)	9,321	20	△0.1	97.2	0.1	850
	75期 (2020年3月23日)	7,512	20	△19.2	96.3	0.2	655
	76期 (2020年4月23日)	7,656	20	2.2	97.1	0.2	665
	77期 (2020年5月25日)	7,940	20	4.0	97.6	0.2	689
第14 作成期	78期 (2020年6月23日)	8,484	20	7.1	97.8	0.2	715
	79期 (2020年7月27日)	8,719	20	3.0	96.5	0.2	711
	80期 (2020年8月24日)	8,794	20	1.1	96.8	0.2	700
	81期 (2020年9月23日)	8,849	20	0.9	97.1	0.2	700
	82期 (2020年10月23日)	8,805	20	△0.3	97.8	0.2	692

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 債 券 組 入 比	券 率
		騰 落 率			
第77期	(期 首) 2020年 4 月23日	円	%	%	%
	4 月末	7,656	-	97.1	0.2
	(期 末) 2020年 5 月25日	7,648	△0.1	96.4	0.2
第78期	(期 首) 2020年 5 月25日	7,960	4.0	97.6	0.2
	5 月末	7,940	-	97.6	0.2
	(期 末) 2020年 6 月23日	8,123	2.3	97.7	0.2
第79期	(期 首) 2020年 6 月23日	8,504	7.1	97.8	0.2
	6 月末	8,484	-	97.8	0.2
	(期 末) 2020年 7 月27日	8,426	△0.7	97.7	0.2
第80期	(期 首) 2020年 7 月27日	8,739	3.0	96.5	0.2
	7 月末	8,719	-	96.5	0.2
	(期 末) 2020年 8 月24日	8,781	0.7	95.5	0.2
第81期	(期 首) 2020年 8 月24日	8,814	1.1	96.8	0.2
	8 月末	8,794	-	96.8	0.2
	(期 末) 2020年 9 月23日	8,810	0.2	96.8	0.2
第82期	(期 首) 2020年 9 月23日	8,869	0.9	97.1	0.2
	9 月末	8,849	-	97.1	0.2
	(期 末) 2020年10月23日	8,717	△1.5	98.2	0.2
		8,825	△0.3	97.8	0.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

インカムビルダー（毎月決算型）為替ヘッジなし

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資 資産 信託 比率	債券 比率	純資 産額
		(分配落)	税 込 金	期 騰 落			
第10 作成期	53期 (2018年5月23日)	円 11,194	円 20	% 1.3	% 98.7	% 0.2	百万円 7,142
	54期 (2018年6月25日)	11,006	20	△1.5	98.6	0.2	6,885
	55期 (2018年7月23日)	11,150	20	1.5	98.7	0.2	6,848
	56期 (2018年8月23日)	11,180	20	0.4	98.7	0.2	6,680
	57期 (2018年9月25日)	11,446	20	2.6	98.5	0.2	6,692
第11 作成期	58期 (2018年10月23日)	11,263	20	△1.4	98.4	0.2	6,213
	59期 (2018年11月26日)	10,942	20	△2.7	98.6	0.3	5,862
	60期 (2018年12月25日)	10,308	20	△5.6	98.3	0.3	5,404
	61期 (2019年1月23日)	10,629	20	3.3	98.3	0.3	5,610
	62期 (2019年2月25日)	10,921	20	2.9	98.4	0.3	5,657
第12 作成期	63期 (2019年3月25日)	10,876	20	△0.2	97.9	0.3	5,519
	64期 (2019年4月23日)	11,144	20	2.6	98.0	0.3	5,582
	65期 (2019年5月23日)	10,937	20	△1.7	97.9	0.3	5,438
	66期 (2019年6月24日)	10,721	20	△1.8	98.1	0.3	5,286
	67期 (2019年7月23日)	10,798	20	0.9	98.3	0.3	5,300
第13 作成期	68期 (2019年8月23日)	10,537	20	△2.2	98.1	0.1	5,112
	69期 (2019年9月24日)	10,748	20	2.2	98.1	0.1	5,153
	70期 (2019年10月23日)	10,691	20	△0.3	98.1	0.1	5,041
	71期 (2019年11月25日)	10,668	20	△0.0	98.4	0.1	4,946
	72期 (2019年12月23日)	10,976	20	3.1	97.9	0.1	5,019
第14 作成期	73期 (2020年1月23日)	11,053	20	0.9	98.2	0.1	5,002
	74期 (2020年2月25日)	11,157	20	1.1	98.0	0.1	4,945
	75期 (2020年3月23日)	8,888	20	△20.2	98.7	0.2	3,886
	76期 (2020年4月23日)	8,854	20	△0.2	98.2	0.2	3,797
	77期 (2020年5月25日)	9,179	20	3.9	98.5	0.2	3,915
第14 作成期	78期 (2020年6月23日)	9,744	20	6.4	98.3	0.2	4,107
	79期 (2020年7月27日)	9,924	20	2.1	98.1	0.2	4,120
	80期 (2020年8月24日)	10,020	20	1.2	98.0	0.2	4,114
	81期 (2020年9月23日)	10,030	20	0.3	98.1	0.2	4,046
	82期 (2020年10月23日)	9,946	20	△0.6	98.1	0.2	3,986

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 券 率	債 組 入 比	券 率
		騰 落 率				
第77期	(期 首) 2020年 4 月23日	円	%	%		%
	4 月末	8,854	—	98.2		0.2
	(期 末) 2020年 5 月25日	8,768	△1.0	98.3		0.2
第78期	(期 首) 2020年 5 月25日	9,199	3.9	98.5		0.2
	5 月末	9,179	—	98.5		0.2
	(期 末) 2020年 6 月23日	9,380	2.2	98.9		0.2
第79期	(期 首) 2020年 6 月23日	9,764	6.4	98.3		0.2
	6 月末	9,744	—	98.3		0.2
	(期 末) 2020年 7 月27日	9,749	0.1	97.9		0.2
第80期	(期 首) 2020年 7 月27日	9,944	2.1	98.1		0.2
	7 月末	9,924	—	98.1		0.2
	(期 末) 2020年 8 月24日	9,888	△0.4	98.3		0.2
第81期	(期 首) 2020年 8 月24日	10,040	1.2	98.0		0.2
	8 月末	10,020	—	98.0		0.2
	(期 末) 2020年 9 月23日	9,997	△0.2	98.3		0.2
第82期	(期 首) 2020年 9 月23日	10,050	0.3	98.1		0.2
	9 月末	10,030	—	98.1		0.2
	(期 末) 2020年10月23日	9,941	△0.9	98.3		0.2
		9,966	△0.6	98.1		0.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

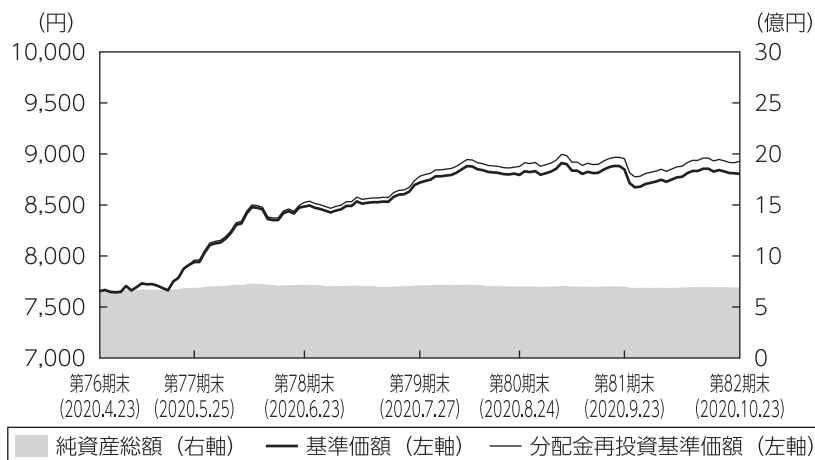
(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

インカムビルダー（毎月決算型）〔限定為替ヘッジ／為替ヘッジなし〕

■第77期～第82期の運用経過（2020年4月24日から2020年10月23日まで）

■ インカムビルダー（毎月決算型）限定為替ヘッジ

基準価額等の推移



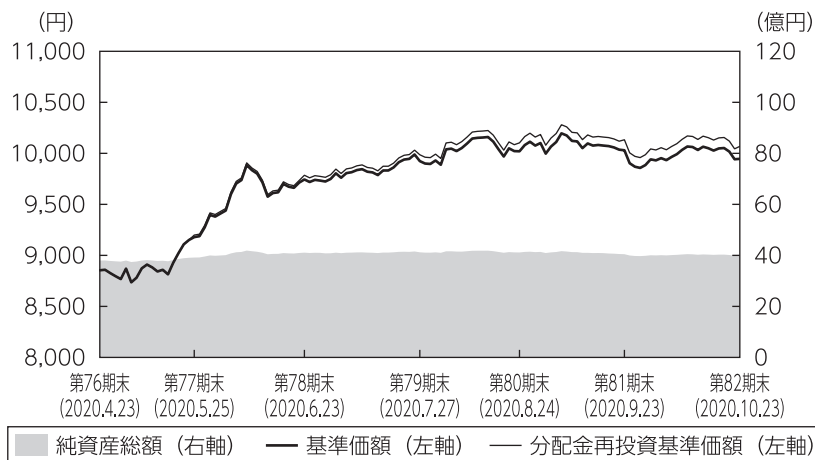
第77期首： 7,656円
第82期末： 8,805円
(既払分配金120円)
騰落率： 16.6%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスM）」受益証券への投資を通じて、世界の債券・株式等に投資を行い、保有する外国投資信託の組入額と同額程度の米ドル売り／円買いの為替取引を行いました。保有するハイイールド債券の価格上昇などが上昇要因となり、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ インカムビルダー（毎月決算型）為替ヘッジなし
基準価額等の推移



第77期首： 8,854円
第82期末： 9,946円
(既払分配金120円)
騰落率： 13.7%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

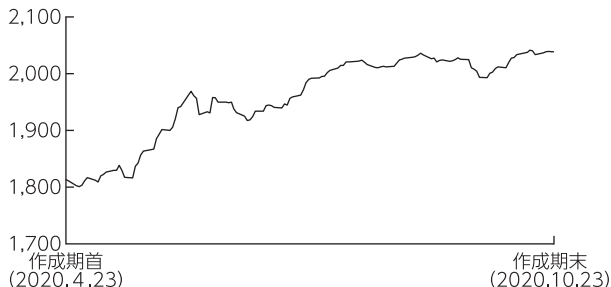
基準価額の主な変動要因

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスM）」受益証券への投資を通じて、世界の債券・株式等に投資を行った結果、保有するハイイールド債券の価格上昇などが上昇要因となり、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

投資環境

● 米国の主要市況

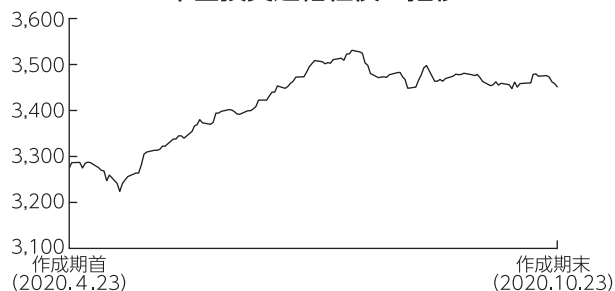
<米国ハイイールド社債の推移>



(注1) 値はICE BofAML・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス (米ドルベース) の前営業日のものを採用しています。

(注2) ICE Data Indices, LLC (ICE Data)、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne(株)又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

<米国投資適格社債の推移>



(注1) 値はブルームバーグ・パークレイズ米国社債インデックス (米ドルベース) の前営業日のものを採用しています。

(注2) ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

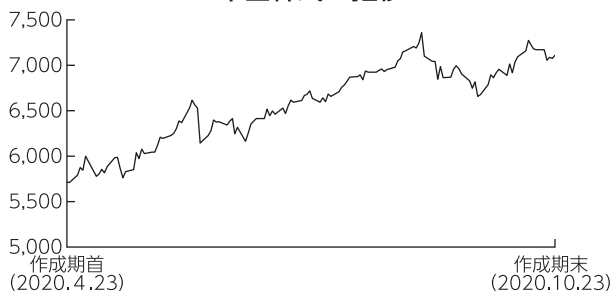
<米国ハイイールド社債市場>

米国ハイイールド社債市場は上昇しました。2020年3月に新型コロナウイルスの感染拡大に伴うリスク回避の動きや原油価格の大幅下落などを背景に大きく下落した同市場は、作成期初より回復基調で推移しました。米連邦準備制度理事会 (F R B) による社債購入プログラムの発表や新型コロナウイルスの治療薬・ワクチン開発の進展期待、経済活動再開への期待感などが上昇要因となりました。対米国債スプレッドは、縮小しました。

<米国投資適格社債市場>

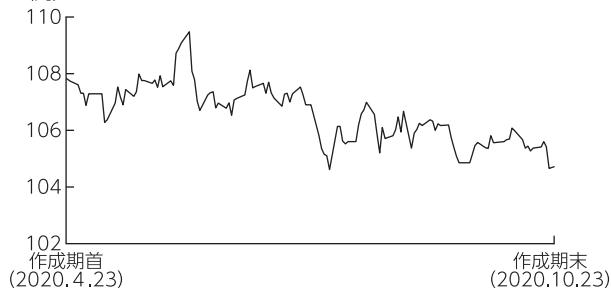
米国投資適格社債市場は上昇しました。F R Bによる社債購入プログラムの発表などを受け、2020年8月上旬にかけては上昇基調で推移しました。作成期末にかけては、米国債に対する先行きの需給悪化懸念などを背景に米国国債の下落の動きにつれ軟調に推移しましたが、作成期を通じては上昇しました。

<米国株式の推移>



(注) 値はS & P 500インデックス（配当込み、米ドルベース）の前営業日のものを採用しています。

<米ドル／円相場の推移>



<米国株式市場>

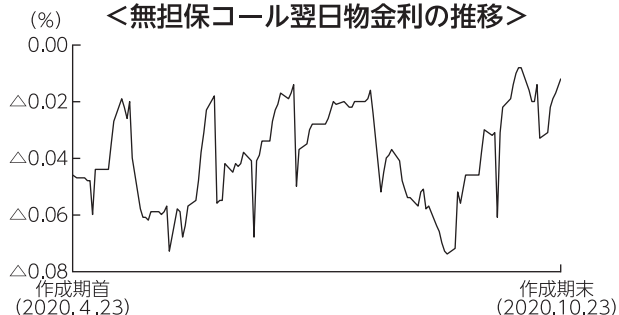
米国株式市場は上昇しました。2020年3月に新型コロナウイルスの感染拡大に伴うリスク回避の動きなどから大きく下落した同市場は、作成期初より回復基調で推移しました。米経済指標の改善や新型コロナウイルスの治療薬・ワクチン開発の進展期待などが上昇要因となりました。

<為替市場>

米ドルは対円で下落しました。2020年6月上旬にかけては、新型コロナウイルスの治療薬・ワクチン開発の進展期待や経済活動再開への期待感から上昇しました。しかしその後は、新型コロナウイルスの感染再拡大による景気の先行き不透明感や米国の金融緩和の長期化観測などを背景に下落しました。作成期末にかけても、米追加経済対策への不透明感などが嫌気され下落幅が拡大しました。

● 短期金融資産市況

<無担保コール翌日物金利の推移>



無担保コール翌日物金利は当作成期間中マイナスの水準で推移しました。

日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。日本銀行当座預金の残高の一部に△0.1%のマイナス金利を適用すること等を含む当該政策が継続された結果、無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移しました。

ポートフォリオについて

●インカムビルダー（毎月決算型）限定為替ヘッジ

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスM）」受益証券の組入比率を高位に維持しました。また、保有する外国投資信託については、米ドル売り／円買いの為替取引を行い、外国投資信託が保有する米ドル建て資産の円に対する為替変動リスクの低減を図りました。なお、MHAM短期金融資産マザーファンドの組み入れを継続しました。

●インカムビルダー（毎月決算型）為替ヘッジなし

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスM）」受益証券の組入比率を高位に維持しました。また、保有する外国投資信託に対して為替ヘッジは行いませんでした。なお、MHAM短期金融資産マザーファンドの組み入れを継続しました。

●ストラテジック・インカム・ファンド（クラスM）

世界の債券・株式等を主要投資対象とし、高いインカム収入の確保を目指し値上がり益も追求しました。種別配分はハイイールド債券や米国国債などを中心に分散投資し、保有資産の通貨配分は米ドルを中心としました。上記の通り運用を行った結果、保有しているハイイールド債券の上昇などから基準価額（米ドル建て）は分配金再投資ベースで上昇しました。

<ポートフォリオの概況> 2020年9月29日現在

種別組入比率

種別	比率
株式等	7.7%
債券等	91.9%
転換社債	10.1%
非米ドル建て債	12.1%
その他債券等	0.0%
ハイイールド債券	40.9%
投資適格債券	14.2%
米国公債	14.7%
その他資産	0.4%

通貨別組入比率

順位	通貨名	比率
1	米ドル	87.9%
2	メキシコペソ	6.3%
3	豪ドル	3.9%
4	カナダドル	1.9%

格付け別組入比率

格付	比率
A A A	15.9%
A A	0.0%
A	10.2%
B B B	23.0%
B B	25.4%
B	20.7%
C C C以下	2.3%
無格付け	2.4%

上位10銘柄の組入比率

順位	銘柄名	種別	通貨	比率
1	米国公債	米国公債	米ドル	8.9%
2	米国公債	米国公債	米ドル	4.9%
3	トライ・ポイント・グループ	ハイイールド債券	米ドル	4.7%
4	ニュアンス・コミュニケーションズ	転換社債	米ドル	4.6%
5	メキシコ国債	非米ドル建て債	メキシコペソ	4.5%
6	A T & T	株式等	米ドル	4.0%
7	プルタミナ・ペルセロ	投資適格債券	米ドル	4.0%
8	ファースト・クワンタム・ミネラルズ	ハイイールド債券	米ドル	3.2%
9	S M エナジー	ハイイールド債券	米ドル	3.0%
10	ユナイテッド・ステイツ・スチール	ハイイールド債券	米ドル	3.0%

- (注1) 株式等にはREIT等を含みます。その他債券等には他項目に分類されないもので、米国の地方債やバンクローン等を含みます。
- (注2) その他資産は100%から各資産の組入比率の合計を差し引いたものです。
- (注3) 組入比率は、「ストラテジック・インカム・ファンド」の運用を行うルーミス・セイレス社から提供されたデータに基づき、アセットマネジメントOne(株)が算出および表示しています。
- (注4) 組入比率は、特段の記載がない限り「ストラテジック・インカム・ファンド」の純資産総額に対する割合を表示しています。
- (注5) 格付けは、S & P、Moody's、Fitchの3社による格付けのうち、最も高い格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠) また、格付け別組入比率は、債券等の時価評価額に対する比率を表示しています。

●MHAM短期金融資産マザーファンド

前回運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき、残存期間が1年以内の短期公社債を中心に組み入れました。この結果、当作成期間中の債券の組入比率は高位を維持しました。

上記運用を行った結果、基準価額は概ね横ばいとなりました。日本銀行の強力な金融緩和政策により、当ファンドの主な投資対象である短期公社債の利回りが概ねゼロ%からマイナスの水準で推移したことが要因となります。

【組入上位5銘柄】

2020年4月23日現在

順位	銘柄名	償還日	比率
1	691回 東京都公募公債	2020/12/18	14.1%
2	22年度1回 福井県公募公債	2020/10/29	12.3%
3	178回 神奈川県公募公債	2020/09/18	8.7%
4	22年度8回 福岡県公募公債	2020/12/24	8.4%
5	341回 大阪府公募公債	2020/08/28	7.8%

2020年10月23日現在

順位	銘柄名	償還日	比率
1	22年度8回 福岡県公募公債	2020/12/24	14.1%
2	691回 東京都公募公債	2020/12/18	14.1%
3	22年度1回 福井県公募公債	2020/10/29	12.4%
4	139回 高速道路機構債	2021/07/30	8.5%
5	34回 住宅金融支援機構財形	2021/06/28	8.5%

(注) 比率は、「MHAM短期金融資産マザーファンド」の純資産総額に対する評価額の割合です。

■ インカムビルダー（毎月決算型）限定為替ヘッジ

分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2020年4月24日 ～2020年5月25日	2020年5月26日 ～2020年6月23日	2020年6月24日 ～2020年7月27日	2020年7月28日 ～2020年8月24日	2020年8月25日 ～2020年9月23日	2020年9月24日 ～2020年10月23日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.25%	0.24%	0.23%	0.23%	0.23%	0.23%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	1,899円	1,925円	1,950円	1,964円	1,982円	1,995円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

■ インカムビルダー（毎月決算型）為替ヘッジなし

分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2020年4月24日 ～2020年5月25日	2020年5月26日 ～2020年6月23日	2020年6月24日 ～2020年7月27日	2020年7月28日 ～2020年8月24日	2020年8月25日 ～2020年9月23日	2020年9月24日 ～2020年10月23日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.22%	0.20%	0.20%	0.20%	0.20%	0.20%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	3,697円	3,731円	3,763円	3,782円	3,800円	3,819円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●インカムビルダー（毎月決算型）限定為替ヘッジ

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスM）」受益証券の組入比率を高位に維持します。また、保有する外国投資信託については、米ドル売り／円買いの為替取引を行い、外国投資信託が保有する米ドル建て資産の円に対する為替変動リスクの低減を図ります。なお、国内短期金融市場や資金動向に留意しつつ、MHAM短期金融資産マザーファンドの組み入れを継続します。

●インカムビルダー（毎月決算型）為替ヘッジなし

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスM）」受益証券の組入比率を高位に維持します。また、保有する外国投資信託に対して為替ヘッジは行いません。なお、国内短期金融市場や資金動向に留意しつつ、MHAM短期金融資産マザーファンドの組み入れを継続します。

●ストラテジック・インカム・ファンド（クラスM）

米国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりしばらくは不安定な状況が続くと予想します。但し、FRBが大規模な金融緩和措置を講じていることは引き続き債券市場の下支え要因になると考えられます。このような環境下、長期投資を基本に割安と判断される銘柄に投資を行う方針です。通貨配分は米ドルを中心とし、米ドル以外の通貨も分散効果や利回り獲得などの観点から投資を継続します。

●MHAM短期金融資産マザーファンド

引き続き無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移すると考えます。

日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続すると見込みます。同政策が継続する間、当マザーファンドで投資する残存期間の短い債券の利回りは、引き続き低位の水準で推移すると考えます。

この見通しのもと、元本の安全性、流動性を勘案し、残存1年以内の短期公社債を中心に投資する方針です。

インカムビルダー（毎月決算型）限定為替ヘッジ

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第77期～第82期 (2020年4月24日 ～2020年10月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	53円	
(投信会社)	(19)	(0.220)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(33)	(0.385)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	53	0.623	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

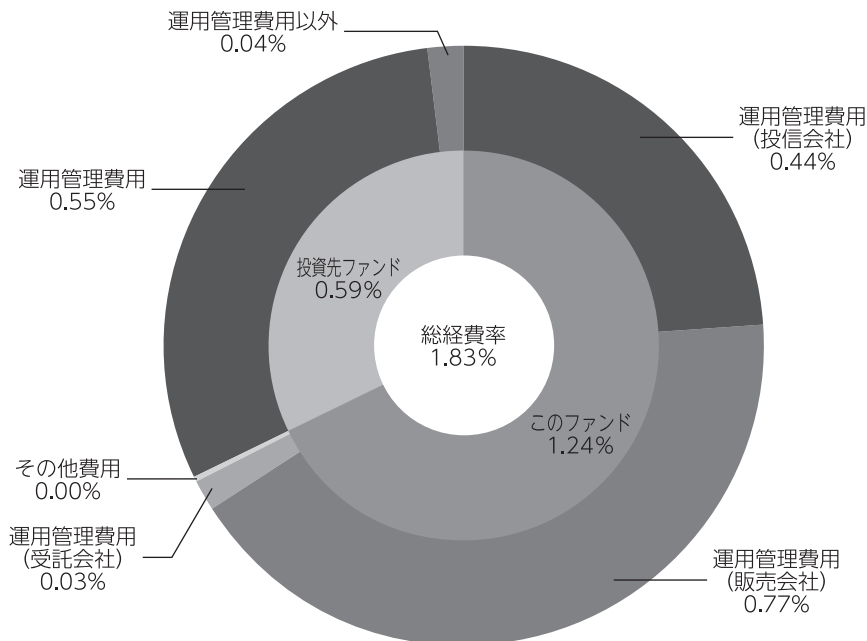
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



総経費率 (①+②+③)	1.83%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.55%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドは、源泉税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2020年4月24日から2020年10月23日まで)

投資信託受益証券

			第 77 期 ~ 第 82 期			
			買 付		売 付	
			□ 数	金 額	□ 数	金 額
外 国	アメリ カ	千□ ストラテジック・インカム・ ファンド(クラスM)	26,347.648 (-)	千アメリカ・ドル 204 (-)	千□ 75,538.79 (-)	千アメリカ・ドル 595 (-)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2020年4月24日から2020年10月23日まで)

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等 (2020年4月24日から2020年10月23日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファン ド名	第13作成期末	第14作成期末			比 率
	□ 数	□ 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千□	千□	千アメリカ・ドル	千円	%
ストラテジック・インカム・ファンド(クラスM)	850,705.695	801,514.553	6,465	676,887	97.8
合 計	850,705.695	801,514.553	6,465	676,887	97.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、期末の純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(2) 親投資信託残高

	第13作成期末	第14作成期末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
MHAM短期金融資産マザーファンド	1,269	1,269	1,298

■投資信託財産の構成

2020年10月23日現在

項 目	第 14 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	676,887	97.5
M H A M 短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド	1,298	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	16,308	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	694,494	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、676,887千円、97.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年10月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=104.70円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年5月25日)、(2020年6月23日)、(2020年7月27日)、(2020年8月24日)、(2020年9月23日)、(2020年10月23日)現在

項 目	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末
(A)資 産	1,339,791,789円	1,404,170,265円	1,381,021,759円	1,379,250,650円	1,375,699,243円	1,369,825,228円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,660,673	16,122,438	17,860,016	20,477,235	15,512,683	12,641,222
投資信託受益証券(評価額)	673,233,906	700,091,101	686,934,553	677,956,418	680,664,196	676,887,214
M H A M 短 期 金 融 資 産 マザーファンド(評価額)	1,298,382	1,298,509	1,298,509	1,298,509	1,298,636	1,298,636
未 収 入 金	645,598,828	686,658,217	674,928,681	679,518,488	678,223,728	678,998,156
(B)負 債	649,959,562	688,240,152	669,313,586	678,913,087	674,865,503	677,611,049
未 払 金	647,489,370	683,091,000	666,053,840	674,748,800	671,945,460	675,330,840
未 払 収 益 分 配 金	1,737,570	1,687,683	1,632,613	1,592,728	1,583,926	1,572,267
未 払 解 約 金	-	2,756,256	806,776	1,890,921	617,890	-
未 払 信 託 報 酬	730,886	703,540	818,415	679,024	716,518	706,282
そ の 他 未 払 費 用	1,736	1,673	1,942	1,614	1,709	1,660
(C)純 資 産 総 額(A-B)	689,832,227	715,930,113	711,708,173	700,337,563	700,833,740	692,214,179
元 本	868,785,096	843,841,813	816,306,900	796,364,317	791,963,115	786,133,744
次 期 繰 越 損 益 金	△178,952,869	△127,911,700	△104,598,727	△96,026,754	△91,129,375	△93,919,565
(D)受 益 権 総 口 数	868,785,096□	843,841,813□	816,306,900□	796,364,317□	791,963,115□	786,133,744□
1万口当たり基準価額(C/D)	7,940円	8,484円	8,719円	8,794円	8,849円	8,805円

(注) 第76期末における元本額は869,844,343円、当作成期間(第77期～第82期)中における追加設定元本額は1,909,662円、同解約元本額は85,620,261円です。

■損益の状況

〔自 2020年4月24日〕〔自 2020年5月26日〕〔自 2020年6月24日〕〔自 2020年7月28日〕〔自 2020年8月25日〕〔自 2020年9月24日〕
 〔至 2020年5月25日〕〔至 2020年6月23日〕〔至 2020年7月27日〕〔至 2020年8月24日〕〔至 2020年9月23日〕〔至 2020年10月23日〕

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
(A)配 当 等 収 益	4,120,197円	3,950,057円	3,834,796円	2,965,427円	3,334,470円	3,340,014円
受 取 配 当 金	4,121,031	3,951,082	3,835,452	2,965,929	3,335,263	3,340,227
受 取 利 息	-	3	7	2	-	-
支 払 利 息	△834	△1,028	△663	△504	△793	△213
(B)有価証券売買損益	23,058,400	44,344,641	17,756,963	5,324,166	3,334,033	△4,513,683
売 買 益	26,046,412	50,752,902	28,519,570	14,969,134	12,342,222	8,869,722
売 買 損	△2,988,012	△6,408,261	△10,762,607	△9,644,968	△9,008,189	△13,383,405
(C)信 託 報 酬 等	△732,622	△705,213	△820,357	△680,638	△718,227	△713,882
(D)当期損益金(A+B+C)	26,445,975	47,589,485	20,771,402	7,608,955	5,950,276	△1,887,551
(E)前期繰越損益金	△209,734,702	△179,646,698	△129,326,982	△107,460,224	△100,847,792	△95,735,123
(F)追加信託差損益金	6,073,428	5,833,196	5,589,466	5,417,243	5,352,067	5,275,376
(配当等相当額)	(53,516,391)	(52,020,732)	(50,367,741)	(49,173,001)	(48,938,892)	(48,619,232)
(売買損益相当額)	(△47,442,963)	(△46,187,536)	(△44,778,275)	(△43,755,758)	(△43,586,825)	(△43,343,856)
(G)合 計(D + E + F)	△177,215,299	△126,224,017	△102,966,114	△94,434,026	△89,545,449	△92,347,298
(H)収 益 分 配 金	△1,737,570	△1,687,683	△1,632,613	△1,592,728	△1,583,926	△1,572,267
次期繰越損益金(G+H)	△178,952,869	△127,911,700	△104,598,727	△96,026,754	△91,129,375	△93,919,565
追加信託差損益金	6,073,428	5,833,196	5,589,466	5,417,243	5,352,067	5,275,376
(配当等相当額)	(53,516,391)	(52,020,732)	(50,367,741)	(49,173,001)	(48,938,892)	(48,619,232)
(売買損益相当額)	(△47,442,963)	(△46,187,536)	(△44,778,275)	(△43,755,758)	(△43,586,825)	(△43,343,856)
分配準備積立金	111,482,773	110,447,044	108,856,199	107,291,256	108,052,876	108,271,757
繰越損益金	△296,509,070	△244,191,940	△219,044,392	△208,735,253	△204,534,318	△207,466,698

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
(a)経費控除後の配当等収益	4,010,146円	3,893,288円	3,690,095円	2,722,777円	2,976,116円	2,626,977円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c)収 益 調 整 金	53,516,391	52,020,732	50,367,741	49,173,001	48,938,892	48,619,232
(d)分 配 準 備 積 立 金	109,210,197	108,241,439	106,798,717	106,161,207	106,660,686	107,217,047
(e)当期分配対象額(a+b+c+d)	166,736,734	164,155,459	160,856,553	158,056,985	158,575,694	158,463,256
(f)1万円当たり当期分配対象額	1,919.19	1,945.33	1,970.54	1,984.73	2,002.31	2,015.73
(g)分 配 金	1,737,570	1,687,683	1,632,613	1,592,728	1,583,926	1,572,267
(h)1万円当たり分配金	20	20	20	20	20	20

■分配金のお知らせ

決算期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
1万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

インカムビルダー（毎月決算型）為替ヘッジなし

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第77期～第82期 (2020年4月24日 ～2020年10月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	61円	
(投信会社)	(21)	(0.220)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(38)	(0.385)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	61	0.623	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

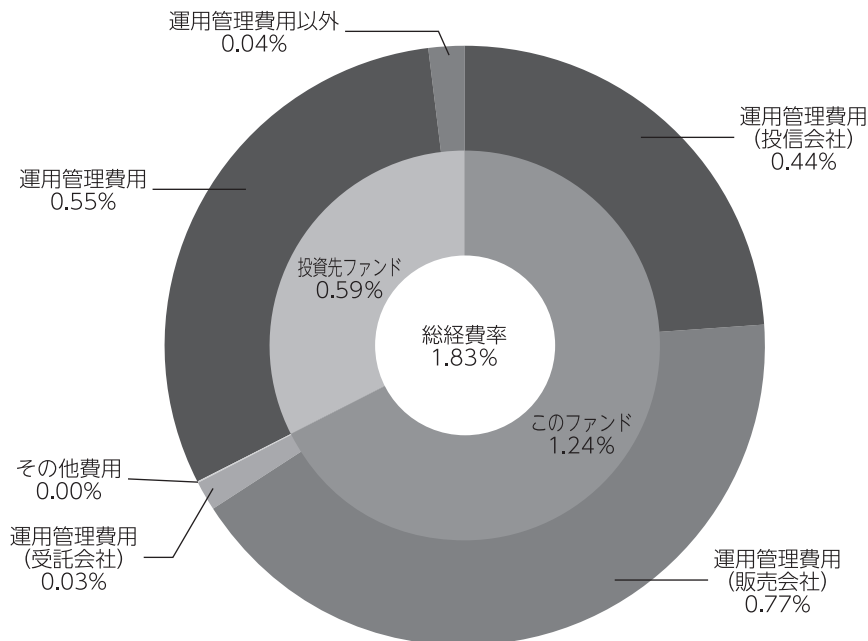
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



総経費率 (①+②+③)	1.83%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.55%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドは、源泉税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■投資信託財産の構成

2020年10月23日現在

項 目	第 14 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 3,912,395	% 97.8
M H A M 短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド	7,519	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	80,129	2.0
投 資 信 託 財 産 総 額	4,000,044	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、3,912,395千円、97.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年10月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=104.70円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年5月25日)、(2020年6月23日)、(2020年7月27日)、(2020年8月24日)、(2020年9月23日)、(2020年10月23日)現在

項 目	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末
(A)資 産	3,938,351,721円	4,121,290,591円	4,156,096,091円	4,137,992,803円	4,081,546,224円	4,000,044,932円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	74,818,784	75,797,374	65,951,121	74,422,836	57,836,734	80,129,827
投資信託受益証券(評価額)	3,856,015,156	4,037,974,702	4,043,367,236	4,031,188,452	3,970,980,041	3,912,395,855
M H A M 短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	7,517,781	7,518,515	7,518,515	7,518,515	7,519,250	7,519,250
未 収 入 金	-	-	39,259,219	24,863,000	45,210,199	-
(B)負 債	23,287,201	14,222,236	35,397,922	23,374,623	34,974,283	13,577,735
未 払 収 益 分 配 金	8,530,774	8,429,589	8,304,196	8,212,757	8,068,731	8,016,391
未 払 解 約 金	10,602,529	1,775,596	22,317,477	11,201,844	22,700,022	1,450,899
未 払 信 託 報 酬	4,143,974	4,007,451	4,764,836	3,950,561	4,195,486	4,100,738
そ の 他 未 払 費 用	9,924	9,600	11,413	9,461	10,044	9,707
(C)純 資 産 総 額(A-B)	3,915,064,520	4,107,068,355	4,120,698,169	4,114,618,180	4,046,571,941	3,986,467,197
元 本	4,265,387,015	4,214,794,501	4,152,098,146	4,106,378,844	4,034,365,755	4,008,195,650
次 期 繰 越 損 益 金	△350,322,495	△107,726,146	△31,399,977	8,239,336	12,206,186	△21,728,453
(D)受 益 権 総 口 数	4,265,387,015□	4,214,794,501□	4,152,098,146□	4,106,378,844□	4,034,365,755□	4,008,195,650□
1万口当たり基準価額(C/D)	9,179円	9,744円	9,924円	10,020円	10,030円	9,946円

(注) 第76期末における元本額は4,288,870,004円、当作成期間(第77期~第82期)中における追加設定元本額は7,514,988円、同解約元本額は288,189,342円です。

■損益の状況

〔自 2020年4月24日〕〔自 2020年5月26日〕〔自 2020年6月24日〕〔自 2020年7月28日〕〔自 2020年8月25日〕〔自 2020年9月24日〕
 〔至 2020年5月25日〕〔至 2020年6月23日〕〔至 2020年7月27日〕〔至 2020年8月24日〕〔至 2020年9月23日〕〔至 2020年10月23日〕

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
(A)配 当 等 収 益	23,684,854円	23,312,369円	22,686,272円	17,456,648円	19,598,240円	19,477,753円
受 取 配 当 金	23,687,928	23,315,948	22,689,304	17,459,158	19,602,250	19,479,194
受 取 利 息	1	13	4	4	16	3
支 払 利 息	△3,075	△3,592	△3,036	△2,514	△4,026	△1,444
(B)有価証券売買損益	127,463,881	227,538,583	65,115,036	34,006,710	△3,215,211	△41,194,697
売 買 益	133,891,909	253,958,429	107,558,432	35,169,109	21,789,711	473,882
売 買 損	△6,428,028	△26,419,846	△42,443,396	△1,162,399	△25,004,922	△41,668,579
(C)信 託 報 酬 等	△4,153,898	△4,017,051	△4,776,249	△3,960,022	△4,205,530	△4,116,385
(D)当期損益金(A+B+C)	146,994,837	246,833,901	83,025,059	47,503,336	12,177,499	△25,833,329
(E)前期繰越損益金	△734,947,011	△589,182,526	△345,455,407	△267,681,131	△224,332,051	△218,731,884
(F)追加信託差損益金	246,160,453	243,052,068	239,334,567	236,629,888	232,429,469	230,853,151
(配当等相当額)	(364,258,202)	(360,396,055)	(355,398,344)	(351,808,217)	(345,919,023)	(344,014,691)
(売買損益相当額)	(△118,097,749)	(△117,343,987)	(△116,063,777)	(△115,178,329)	(△113,489,554)	(△113,161,540)
(G)合 計(D + E + F)	△341,791,721	△99,296,557	△23,095,781	16,452,093	20,274,917	△13,712,062
(H)収 益 分 配 金	△8,530,774	△8,429,589	△8,304,196	△8,212,757	△8,068,731	△8,016,391
次期繰越損益金(G+H)	△350,322,495	△107,726,146	△31,399,977	8,239,336	12,206,186	△21,728,453
追加信託差損益金	246,160,453	243,052,068	239,334,567	236,629,888	232,429,469	230,853,151
(配当等相当額)	(364,258,202)	(360,396,055)	(355,398,344)	(351,808,217)	(345,919,023)	(344,014,691)
(売買損益相当額)	(△118,097,749)	(△117,343,987)	(△116,063,777)	(△115,178,329)	(△113,489,554)	(△113,161,540)
分配準備積立金	1,212,759,147	1,212,430,606	1,207,186,514	1,201,476,964	1,187,455,920	1,186,764,115
繰 越 損 益 金	△1,809,242,095	△1,563,208,820	△1,477,921,058	△1,429,867,516	△1,407,679,203	△1,439,345,719

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
(a)経費控除後の配当等収益	23,039,805円	22,944,148円	21,457,866円	16,118,172円	15,397,934円	15,366,263円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c)収 益 調 整 金	364,258,202	360,396,055	355,398,344	351,808,217	345,919,023	344,014,691
(d)分 配 準 備 積 立 金	1,198,250,116	1,197,916,047	1,194,032,844	1,193,571,549	1,180,126,717	1,179,414,243
(e)当期分配対象額(a+b+c+d)	1,585,548,123	1,581,256,250	1,570,889,054	1,561,497,938	1,541,443,674	1,538,795,197
(f)1万円当たり当期分配対象額	3,717.24	3,751.68	3,783.36	3,802.62	3,820.78	3,839.12
(g)分 配 金	8,530,774	8,429,589	8,304,196	8,212,757	8,068,731	8,016,391
(h)1万円当たり分配金	20	20	20	20	20	20

■分配金のお知らせ

決算期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
1万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

ストラテジック・インカム・ファンド

(クラスM)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍外国投資信託／米ドル建て受益証券／オープン・エンド型
信託期間	原則として150年間（早期に償還される場合があります。）
投資方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主として、世界の債券および株式等を投資対象として分散投資を行います。 2. 投資にあたっては、個別銘柄分析により組入れ銘柄の選択を行います。また、ファンダメンタルズを重視した投資環境分析に基づき、債券等の種類別（社債（投資適格社債、ハイイールド社債、転換社債等）、国債・政府機関債、資産担保証券、企業向け貸付債権（バンクローン等）等）および株式等への投資配分を機動的に変更します。 3. 株式（優先株を含みます。）、REIT（優先REITを含みます。）等については配当利回りを考慮して個別銘柄選択を行います。また、投資割合は、信託財産の純資産総額の35%以下とします。 4. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市場動向等に急激な変化が生じたときまたは予想されるとき、償還の準備に入ったときならびに残存元本が運用に支障をきたす水準となったとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。
決算日	年1回（12月31日）
費用等	<p>運用管理費用等：純資産総額に対し、年0.485%程度</p> <p>その他費用等：信託財産に関する租税／組入有価証券売買の際に発生する売買手数料／資産の保管等に要する費用／信託事務の処理に要する費用／信託財産の監査に要する費用／法律関係の費用およびファンド設立に係る費用／借入金の利息および立替金の利息 等</p> <p>※運用管理費用等には、年次等による最低費用等が設定されているものがあり、信託財産の純資産総額によっては、上記の率を超える場合があります。</p>
運用会社	ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピー
受託会社	CIBCバンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
事務管理会社	ステート・ストリート・ケイマン・トラスト・カンパニー
保管会社	ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー

ストラテジック・インカム・ファンドはケイマン籍外国投資信託で、2019年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下の「包括（損失）利益計算書」、「ユニット保有者に帰属する純資産変動計算書」は、2019年12月31日現在の財務諸表の原文の翻訳を抜粋したものです。なお、ストラテジック・インカム・ファンド（クラスM）は、当ファンドの個別クラスとなっております。

(1) 包括（損失）利益計算書

2019年12月31日現在（米ドルで表示）

	2019年12月31日に 終了した事業年度
収益	
受取配当金	\$920,053
その他収益	78,356
損益を通じて公正価値で測定される金融資産に係る利息	9,574,454
損益を通じて公正価値で測定される金融資産及び負債に係る純実現損失	(9,696,198)
外国通貨換算に係る純実現損失	(73,681)
損益を通じて公正価値で測定される金融資産及び負債に係る未実現評価益（評価損）の純変動額	23,975,603
外国通貨換算に係る未実現評価益（評価損）の純変動額	8,876
純利益（損失）合計	24,787,463
費用	
投資運用報酬	840,565
通貨運用報酬	123,162
管理報酬	114,207
専門家報酬	41,718
カストディ報酬	26,621
受託会社報酬	20,105
取引費用	936
その他費用	2,456
法律顧問報酬	—
営業費用合計	1,169,770
純営業利益（損失）	23,617,693
金融費用	
ユニット保有者に対する分配金	(13,995,775)
税金	
源泉税	(233,107)
ユニット保有者に帰属する営業活動及び包括利益（損失）合計による純資産の純増加（減少）	\$9,388,811

(2) ユニット保有者に帰属する純資産変動計算書

2019年12月31日に終了した事業年度

	2019
期首残高	\$195,728,701
期中に発行したユニット	14,784,775
期中に償還したユニット	(38,358,000)
期中におけるユニット保有者に帰属する営業活動による純資産の純増加（減少）	9,388,811
期末残高	\$181,544,287

(3) 組入上位10銘柄

銘柄名	資産種別	比率
TREASURY BILL	FIXED INCOME	10.3%
US TREASURY N/B	FIXED INCOME	7.1
AT+T INC	EQUITY	4.4
GROUP 1 AUTOMOTIVE INC	FIXED INCOME	4.3
PRECISION DRILLING CORP	FIXED INCOME	4.1
MEX BONOS DESARR FIX RT	FIXED INCOME	3.9
PERTAMINA PERSERO PT	FIXED INCOME	3.9
TRI POINTE GROUP / HOMES	FIXED INCOME	3.7
UNITED STATES STEEL CORP	FIXED INCOME	3.5
SM ENERGY CO	FIXED INCOME	3.4
組入銘柄数	105銘柄	

(注1) 比率は、ストラテジック・インカム・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) ステート・ストリート社提供のデータ等を基にアセットマネジメントOneが作成したものです。

MHAM短期金融資産マザーファンド

運用報告書

第20期（決算日 2020年6月30日）

（計算期間 2019年7月2日～2020年6月30日）

MHAM短期金融資産マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2000年7月28日から無期限です。
運用方針	わが国の短期公社債および短期金融商品を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利を指数化した収益率を上回る運用成果を目指します。
主要投資対象	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		無担保コール翌日物累積指数 (ベンチマーク)		無担保コール 翌日物金利	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	期 騰 落 率	中 落 率	期 騰 落 率	中 落 率				
	円	%		%	%	%	%	百万円
16期 (2016年6月30日)	10,226	0.049	10,180.29	0.034	△0.064	98.1	-	254
17期 (2017年6月30日)	10,222	△0.039	10,175.57	△0.046	△0.069	99.0	-	254
18期 (2018年7月2日)	10,225	0.029	10,170.21	△0.053	△0.074	92.3	-	200
19期 (2019年7月1日)	10,228	0.029	10,164.03	△0.061	△0.071	93.8	-	181
20期 (2020年6月30日)	10,230	0.020	10,159.77	△0.042	△0.068	91.8	-	177

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 無担保コール翌日物累積指数は2000年7月27日を10,000とし、無担保コール翌日物金利の収益を指数化したものです（小数第3位四捨五入）（以下同じ）。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

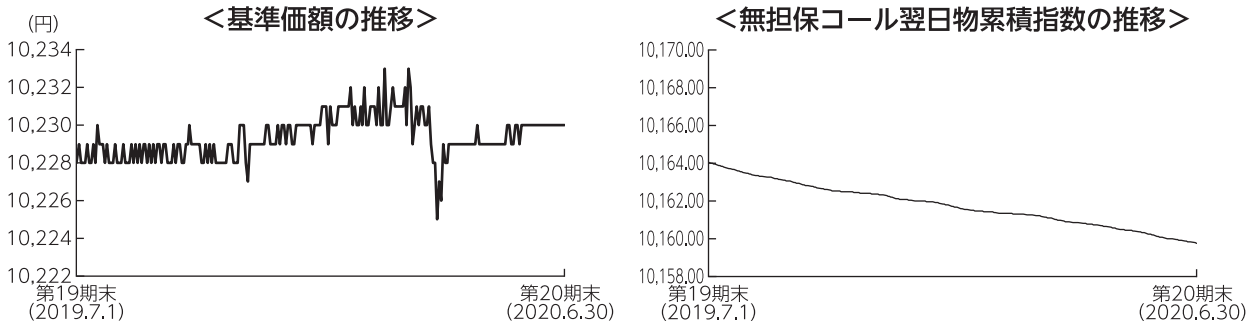
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		無担保コール翌日物累積指数 (ベンチマーク)		無担保コール 翌日物金利	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2019年7月1日	円 10,228	% -	10,164.03	% -	% △0.071	% 93.8	% -
7月末	10,228	0.000	10,163.44	△0.006	△0.071	93.7	-
8月末	10,228	0.000	10,163.05	△0.010	△0.061	95.8	-
9月末	10,229	0.010	10,162.56	△0.015	△0.064	91.4	-
10月末	10,230	0.020	10,162.39	△0.016	△0.030	93.3	-
11月末	10,230	0.020	10,162.04	△0.020	△0.034	97.9	-
12月末	10,231	0.029	10,161.73	△0.023	△0.068	91.5	-
2020年1月末	10,230	0.020	10,161.40	△0.026	△0.039	91.4	-
2月末	10,231	0.029	10,161.27	△0.027	△0.025	90.0	-
3月末	10,226	△0.020	10,160.86	△0.031	△0.070	90.8	-
4月末	10,229	0.010	10,160.56	△0.034	△0.060	93.6	-
5月末	10,229	0.010	10,160.19	△0.038	△0.073	93.5	-
(期 末) 2020年6月30日	10,230	0.020	10,159.77	△0.042	△0.068	91.8	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過 (2019年7月2日から2020年6月30日まで)



基準価額の推移

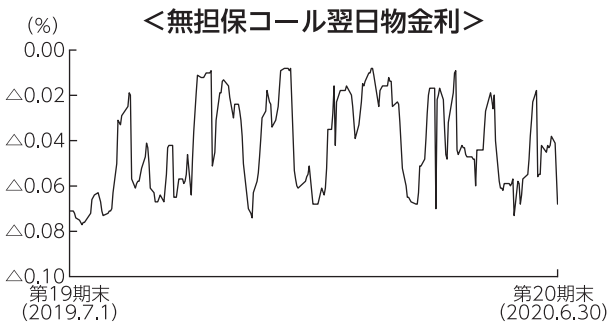
当ファンドの基準価額は10,230円となり、前期末比で0.02%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

日本銀行の強力な金融緩和政策が継続したことで、無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。そのような環境下、当マザーファンドの主な投資対象である短期公社債の利回りが概ねゼロ%の水準で推移したことで、基準価額は概ね横ばいとなりました。

投資環境

●短期金融資産市況



当期間中、日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。日本銀行当座預金の残高の一部に△0.1%のマイナス金利を適用すること等を含む当該政策が継続された結果、無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移しました。

ポートフォリオについて

前回運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき、残存期間が1年以内の短期公社債を中心に組み入れ、当期間中の債券の組入比率は高位を維持しました。

【組入上位銘柄】

期首				
順位	銘柄	利率	償還日	比率
1	21年度6回 千葉県公募公債	1.410%	2019/9/25	11.0%
2	21年度2回 北九州市公募公債	1.360%	2019/12/24	8.7%
3	21年度10回 愛知県公募公債 10年	1.380%	2019/10/30	7.8%
4	21年度1回 福井県公募公債	1.340%	2019/12/25	7.7%
5	42回 川崎市公募公債 5年	0.101%	2019/12/20	7.4%

期末				
順位	銘柄	利率	償還日	比率
1	691回 東京都公募公債	1.240%	2020/12/18	14.2%
2	22年度1回 福井県公募公債	0.930%	2020/10/29	12.5%
3	178回 神奈川公募公債	1.050%	2020/9/18	8.8%
4	22年度8回 福岡県公募公債	1.290%	2020/12/24	8.5%
5	341回 大阪府公募公債	1.060%	2020/8/28	7.9%

(注) 比率はMHAM短期金融資産マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

ベンチマークとの差異について

基準価額の騰落率はベンチマークを0.06%上回りました。当期間中、日本銀行の強力な金融緩和政策により、ベンチマークである無担保コール翌日物金利がマイナスの水準で推移した一方、相対的に利回り水準に魅力のある地方債などに投資したことがプラスに寄与しました。

今後の運用方針

引き続き無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移すると考えます。日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続すると見込みます。同政策が継続する間、当マザーファンドで投資する残存期間の短い債券の利回りは、引き続き低位の水準で推移すると考えます。この見通しのもと、元本の安全性、流動性を勘案し、残存1年以内の短期公社債を中心に投資する方針です。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2019年7月2日から2020年6月30日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	143,547 ^{千円}	20,030 ^{千円} (129,950)
	特殊債証券	19,874	— (20,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年7月2日から2020年6月30日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地 方 債 証 券	142,260	142,746	80.6	61.0	—	—	80.6
特 殊 債 券	9,800	9,831	5.5	—	—	—	5.5
金 融 債 券	10,000	10,010	5.7	—	—	—	5.7
合 計	162,060	162,588	91.8	61.0	—	—	91.8

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(地方債証券)	%	千円	千円	
3 4 1 回 大阪府公募公債	1.0600	13,910	13,933	2020/08/28
2 2 年度 5 回 大阪市公募公債	1.2000	11,350	11,378	2020/09/17
6 8 8 回 東京都公募公債	0.9400	10,000	10,020	2020/09/18
1 7 8 回 神奈川県公募公債	1.0500	15,500	15,535	2020/09/18
2 2 年度 6 回 千葉県公募公債	1.0800	10,000	10,025	2020/09/25
2 7 年度 4 回 福岡市公募公債 5年	0.1410	7,000	7,002	2020/09/28
2 2 年度 1 回 福井県公募公債	0.9300	22,000	22,066	2020/10/29
2 2 年度 1 1 回 静岡県公募公債	1.0080	12,500	12,550	2020/11/25
6 9 1 回 東京都公募公債	1.2400	25,000	25,142	2020/12/18
2 2 年度 8 回 福岡県公募公債	1.2900	15,000	15,092	2020/12/24
小 計	—	142,260	142,746	—
(特殊債券)	%	千円	千円	
1 2 0 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	0.9000	9,800	9,831	2020/10/30
小 計	—	9,800	9,831	—
(金融債券)	%	千円	千円	
3 1 4 回 利附信金中金債（5年）	0.2000	10,000	10,010	2021/01/27
小 計	—	10,000	10,010	—
合 計	—	162,060	162,588	—

■投資信託財産の構成

2020年6月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 162,588	% 91.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14,554	8.2
投 資 信 託 財 産 総 額	177,142	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年6月30日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	177,142,478円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	14,174,536
公 社 債 (評価額)	162,588,068
未 収 利 息	375,919
前 払 費 用	3,955
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	177,142,478
元 本	173,160,950
次 期 繰 越 損 益 金	3,981,528
(D) 受 益 権 総 口 数	173,160,950口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,230円

(注1) 期首元本額	177,903,929円	通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 米ドルコース	米ドルコース
追加設定元本額	65,008,234円		7,087,354円
一部解約元本額	69,751,213円	通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 豪ドルコース	豪ドルコース
(注2) 期末における元本の内訳			1,769,440円
MHAMライフ ナビゲーション インカム	2,450,020円	通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) ブラジルリアル	ブラジルリアル
MHAMライフ ナビゲーション 2020	69,422,006円		4,971,163円
MHAMライフ ナビゲーション 2030	5,586,045円	インカムビルダー (毎月決算型) 限定為替ヘッジ	
MHAMライフ ナビゲーション 2040	2,450,020円		1,269,315円
MHAMライフ ナビゲーション 2050	1,476,077円	インカムビルダー (毎月決算型) 為替ヘッジなし	
米国厳選成長株集中投資ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	314,857円	インカムビルダー (年1回決算型) 限定為替ヘッジ	7,349,478円
米国厳選成長株集中投資ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	7,777,756円	インカムビルダー (年1回決算型) 為替ヘッジなし	1,090,599円
米国ハイイールド債券ファンド 円コース	4,409,727円	インカムビルダー (毎月決算型) 世界通貨分散コース	8,026,585円
米国ハイイールド債券ファンド 米ドルコース	5,766,944円		9,719,979円
米国ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース	15,359,545円	インカムビルダー (年1回決算型) 世界通貨分散コース	
米国ハイイールド債券ファンド 南アフリカランドコース	324,207円		2,399,176円
米国ハイイールド債券ファンド ブラジルリアルコース	10,606,394円	期末元本合計	173,160,950円
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 円コース	3,534,263円		

■損益の状況

当期 自2019年7月2日 至2020年6月30日

項	目	当	期
(A)	配当等収益	1,558,762	円
	受取利息	1,566,774	
	支払利息	△8,012	
(B)	有価証券売買損益	△1,534,519	
	売買損	△1,534,519	
(C)	当期損益金(A+B)	24,243	
(D)	前期繰越損益金	4,060,782	
(E)	解約差損益金	△1,595,263	
(F)	追加信託差損益金	1,491,766	
(G)	計(C+D+E+F)	3,981,528	
	次期繰越損益金(G)	3,981,528	

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。